



「金龍への祈り」

龍が集う寺々音楽奉納&テポロハウ長老のお話

ここ金陵山西大寺では日本三大奇祭としても全国的に有名な西大寺会陽(国指定重要無形民俗文化財)が行われる。厳冬の深夜、本堂御福窓(ごふくまど)から投下される2本の宝木(しんぎ)をめぐる、約10,000人の裸群の争奪戦は瀬戸内海に集まってきた金龍のうねりそのもの。互いにぶつかり合って罪障苦悩や煩惱が昇華され地域に御福が広がると云われている。ここには龍神より授かりし『犀角』『龍鐘』『龍燈』があるが、昨年、途絶えていた龍燈に龍宮の西門である山口県般若寺の龍燈が分燈され、数百年ぶりに三つの霊宝が揃った。この龍が集う寺にワイタハのドラゴンキーパーであるテポロハウ長老とドラゴンドラマー達が祈りと音霊を心経とともに届ける。



開催日
6/22 (金)

受付: 17:30 開演: 18:30~21:00(状況により終了時間が遅延の場合あり)
会場: 金陵山西大寺観音院 牛玉所殿(岡山市東区西大寺中3-8-8)
料金: S席/前振込6,500円(税込) 当日払い7,000円(税込) **20名限定!!**
一般席/前振込5,500円(税込) 当日払い6,000円(税込)

※S席は限定20名様のみ敷居が少し高くなった空間で『えびす大黒』の奉納演奏を間近で体験できます。
※S席は大きな音が苦手な方や、小さなお子様はご遠慮下さい。

GUEST
・祈りやおはなし/ワイタハのテポロハウ長老
・護摩/金陵山西大寺住職 坪井隆広住職
・経頭/山口般若寺90世 福嶋弘昭住職
・奉納演奏/えびす大黒
・ライアー演奏/中谷淳子

主催/パラレルワールド&ワイタハジャパン

詳細・お申し込みは『こくちーず』にてお願いします

S席 ▶ <http://www.kokuchpro.com/event/d9bb554b297f4b58e5bb9a484a0b9543/>
一般席 ▶ <http://www.kokuchpro.com/event/f2920b80fe706f8defab585e1a820dd9/>

S席 ▼ 一般席 ▼



えびす大黒
『太鼓芸能集団 鼓童』で18年間叩きつづけた荒茂善隆介と元 THE BLUE HEARTSのドラマー梶原徹也。
二人がくりだすダイナミックな祈りの魂は世界を変えて!!


梶原徹也 PROFILE
'86~'95まで『THE BLUE HEARTS』のドラマーとして活躍。解散後は世界中を演奏して回り、現在は『えびす大黒』『THUNDER BEAT』で活動中。加えて、バリアフリロックバンド『サルサカムテープ』など大人数で音楽の楽しさを共有するという活動を積極的に行っている。近年は、鼓童『混沌』のドラム監修、アドバイザーや作曲を手かけ、和太鼓とドラム、ロックの新たな可能性を模索している。神仏に捧げるご奉納演奏は、ライブワークとして、ご縁を大切にしながら全国各地の神社仏閣を廻らせていただいている。

梶介(小田洋介) PROFILE
太鼓芸能集団『鼓童』から2017年に独立。鼓童時代は中心的奏者の一人として、和太鼓などの主要な演目を日本全国はもとろん世界各地で演奏してきた。2013年にフランス国立パリオペラ座での石井真木作曲のバレエ『KAGUYAHIME』に和太鼓奏者として出演。2015年に舞台『アマテラス』で坂東玉三郎(人間国宝)と共演。現在はソロでの演奏活動とともに和太鼓の指導やワークショップを全国各地で開催。力強さの中に繊細さや情緒を兼ね備える表現で、和太鼓演奏の新たな地平を切り拓く。

中谷淳子 PROFILE
パラレルワールド、ワイタハジャパン主宰。1994年よりパラレルワールドを主宰し、ヒーリングスクール、各種講座、呼吸法、瞑想、国内外のツアーを通して人々が心から人生を喜び、自分の人生を生ききるお手伝いをする。2008年にマヤ族のアレハンドロ大長老を招聘し日本巡礼を行い、2010年にワイタハファミリーと共に暮らし、ワイタハジャパンを立ち上げワイタハチャーチの支援を行っている。ワイタハグラッドマザー評議会の一員。アメリカリアサイトセンター 認定ヒーラー。プレスアウェアネスファシリテーター。



テポロハウルカテコロコ PROFILE
ニュージャーランドの先住民ワイタハの祭司。3歳の頃にシャーマンになる為に祖父母に連れられて洞窟へ行き地中に3日間埋められる『死の儀式』を受ける。大学で生物・化学・伝統を教授する。ルカの家系はルカの種族でもある。またワイタハに古くから伝わるドラゴンスクールの最後の生徒であり、ドラゴンケア टीカーでもあります。日本との交流を深めながら古代の大地やスピリット、人々の意識に働きかけている。



山口県 神峰山用明院 般若寺 伽藍復興事業「十王堂」支援のお願い

今から約1400年前、荒ぶる金龍神を鎮めるため、海に身を投げ、自らを捧げた「般若姫」を弔うため、夫である用明天皇の勅願により建立された般若寺。瀬戸内海の入口「龍宮西門」として燈台の役割を果たしてきました。その大事な西門には閻魔大王が鎮座する十王堂があり、世の中の地獄・閻を治めてきましたが、明治維新の際に断絶されその機能を果たせないまま今に至っています。テポロハウ長老は、閻魔大王がそのような状態にあることを危惧し、一刻も早く十王堂を復興するよう言い続けています。それは瀬戸内のみならず日本全体にとっても大切な事であり、龍門をしっかりと機能させるためにも必要不可欠だと伝え、皆様へ支援を呼びかけています。その思いにご賛同頂ける方は、下記に御浄財をお納め下さい。



【総工費】 12,000,000円(六角堂新築工事(檜造り)・十王之鏡・仏具など)
【寄付金】 広く寄付金をお願い致します。 一口 10,000円(記念品授与)
 ご寄付頂いた方のお名前・住所・祈願を『えんま帳(功徳帳)』に記載し永代に渡り「閻魔大王」の台座に納められます。
【特別寄付】 50口以上ご奉納の方のご芳名は『十王鏡』に真鍮プレートに護刻されます。また、落慶法要終了後記念品を贈呈いたします。
【落慶法要】 平成30年9月24日
【納入先】 郵便局 口座名 般若寺伽藍復興事業実行委員会 口座番号 01350-2-50981 ▶般若寺HP <http://hannyaji.net/>

金龍への祈りの収益金の一部は十王堂復興事業に寄付されます